

# コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2022年11月22日

BMJ:

コロナ対策費用がウクライナ戦費に吸い取られている

## 【松崎雑感】

世界の年間軍事費は206兆円（2020年）。ロシア侵略に対抗するウクライナの戦費は月1兆2000億円。戦争は究極の無駄遣いです。世界の子どもたちに必要なワクチンをすべて接種する費用は、軍事費のごく一部を回すだけでまかなえます。ロシアのウクライナ侵略がもたらした健康上の大きな脅威に想いを馳せる必要があります。

## コロナ対策費用がウクライナ戦費に吸い取られている

Dinsdale P. Covid-19: Funding for pandemic preparedness being "sucked away" by war in Ukraine. *BMJ*. 2022;379:o2748. Published 2022 Nov 14. doi:10.1136/bmj.o2748

途上国のコロナ対策に支出される予定だった先進国資金のうち124億ドルが、ウクライナ戦費に回されていることが分かった。

前国連副事務局長で、現在Open Society Foundation代表のマーク・マロック・ブラウン氏は、貧しい国々のためのパンデミック対策援助資金が、ロシアに侵略されているウクライナに対する援助資金に「吸い取られており」、開発援助の約束が不履行となっていると語った。

イギリスは開発援助費をGDPの0.7%から0.5%に削減した。他の国々も同様の動きである。ウクライナの復興のためには、今後10年間で4000億ドル以上の資金がかかるとみられ、外国からの多額の援助が必要とみられている。

ヨーロッパの多くの国では、エネルギー価格高騰と、ウクライナ難民の受け入れのために、多くの資金が必要となっており、パンデミック対策費用の減額をもたらしている。

先週ロンドンで開催された今後の開発資金に関するカンファランスで、マロック・ブラウン氏は、製薬産業が貧しい国々に財政負担を押し付けていることを憂慮していると述べた。

「巨大製薬企業が、パンデミック対策にしっかり関与しているかどうか疑っている。ワクチン開発は大きな成功をおさめたが、安い価格で、必要な人々すべてに投与できる法律的枠組みを作り実行することが大事だ」と。

「北半球の先進国が新型コロナ対策において、ヘルスケアコストだけにとどまらず、巨額の政治的コストを発展途上国にもたらしたことで、先進国に対する途上国の不信はさらに高まっている。われわれはこの轍を踏むわけにはいかない」

Open Society Foundationは、公平なワクチン配布のために10数億ドルの資金を募るほか、ゲイツ-クリントン財団にCovaxイニシアティブへの資金援助を交渉している。

WHOは貧しい国々のワクチン接種とコロナ対策を支援するための金融仲介基金をあっせんしている。

アメリカに本部を置くRESULTSという開発援助組織の拡張コミュニケーション担当代表コリン・プーゾ・スミス氏は、ほかの疾患でも途上国のワクチンに対するアクセスが悪化していると述べた。

「WHOは途上国で不足しているこれらワクチンの再配分をしなければならない。新型コロナに次いで死亡者の多い結核も、パンデミックという状況になっている」と彼は述べた。

Centre for Global Development副代表ピーター・ベイカー氏は、新型コロナの流行状況のモニタリングとワクチンのストックも大事だが、多くの国では、プライマリヘルスケアシステムの改善が必要であり、また、感染対策のキャンペーン費用も保証する必要がある」と述べた。

WHOのACT推進担当でHealth Poverty Actionの特別助言者フィファ・ラーマン氏は、多くの途上国では地域のヘルスワーカーが不足しており、ワクチン接種を担う草の根のヘルスワーカーを国としてどう確保するかの対策が望まれていると語った。